

「ゴールデンウィーク」

4月29日は昭和の日、5月3日は憲法記念日、5月4日はみどりの日、5月5日はこどもの日。ゴールデンウィークは遊びを通して、家族や友人と楽しい時間をお過ごしください。



最近の子どもたちの遊びといえば、電子ゲームをはじめ、通称「トレカ」と呼ばれるトレーディングカードゲーム。ただ、カルタやメンコなどが近年、新たな形態で幅広い年代の人たちで楽しめるようになるなど、興味深い動きが見られます。

昔の子どもたちは何をして遊んでいたの？

メンコやビー玉、おはじきやコマ、ヨーヨーなどは、戦前に流行った子どもたちのおもちゃの代表的なもの。今の子どもたちでも、こうしたおもちゃは聞いたことがあったり、遊んだりしたことがあるかもしれません。これらのおもちゃの特徴は、場所を選ばずに遊べて、ルールがシンプルで分かりやすいこと。当時はあちこちでこうした遊びに興じる子どもたちの姿が見られました。

戦後からの復興で人々の日常生活を取り戻されるようになると、新たなおもちゃの開発が進められ、フラフープやテレビ番組のキャラクター人形などが登場。近代で人気の電子ゲームの走りとなった家庭用ゲーム機が登場したのは1980年代でした。ファミコンやたまごっちに夢中になった人も多いのでは？

子どもだけじゃなく大人もみんな夢中だったよにや。



ボウリングや映画も大人気だったの？

日本生産性本部がまとめた「レジャー白書」によると、沖縄はボウリング参加人数が全国平均よりも高い結果が出ています。幅広い年齢層にスポーツとして楽しまれており、お菓子を食べたり時にはお酒を飲みながら、模合やコミュニケーションの場としても活用されています。そして、戦後の復興期に沖縄の生活を豊かにしたのが映画。1960年代のピーク時には120軒もの映画館があったとのこと。県民を楽しませる存在としてブームになりました。



沖縄で最初にできた映画館（1974年）。「大活動写真」の看板がかかっている。（那覇市歴史博物館提供）

沖縄生まれの新しいカードゲームが気になる

「ハイスイゴヤーハブシーサー」と、沖縄らしい言葉が並ぶのは、沖縄発のカルタ。「エイサー」の元気な掛け声に合わせて沖縄の名物を早

どっちも楽しそうでやってみよう！沖縄生まれの新しいのいいね！



スポーツメンコ「デングリ」



「ハイスイゴヤーハブシーサー」

い者勝ちで取り合うというルール。ハイスイゴヤーを取りと逆転勝利ができるなど、盛り上がる要素も盛り込まれています。

「デングリ」は沖縄発のスポーツメンコ。昔から親しまれてきたメンコ遊びをベースに得点制を取り入れて、全身を使ってメンコを叩きつけ合い勝敗を競うというもの。スポーツとして大人も楽しく参加できるというのがポイントです。どちらも年齢や性別を問わずみんなでワイワイと楽しめるというのが最大の特徴。家族や親戚が集まるこの機会に、みんなで挑戦してみるときっと盛り上がりそうですよ。

タイムマシン

第1回 遊び編

タマ



ヘイワ

イリオモテヤマネコ。特殊な機器を取り付けると、なんでもタイムマシンに変えられる。

小学4年生。平和主義者。パイン好き。

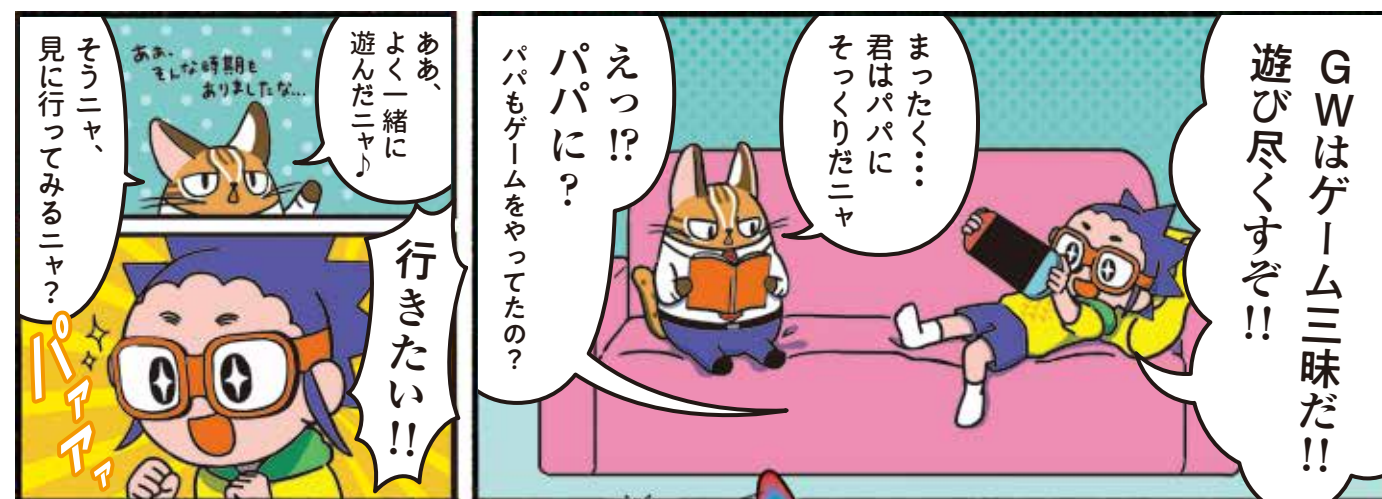
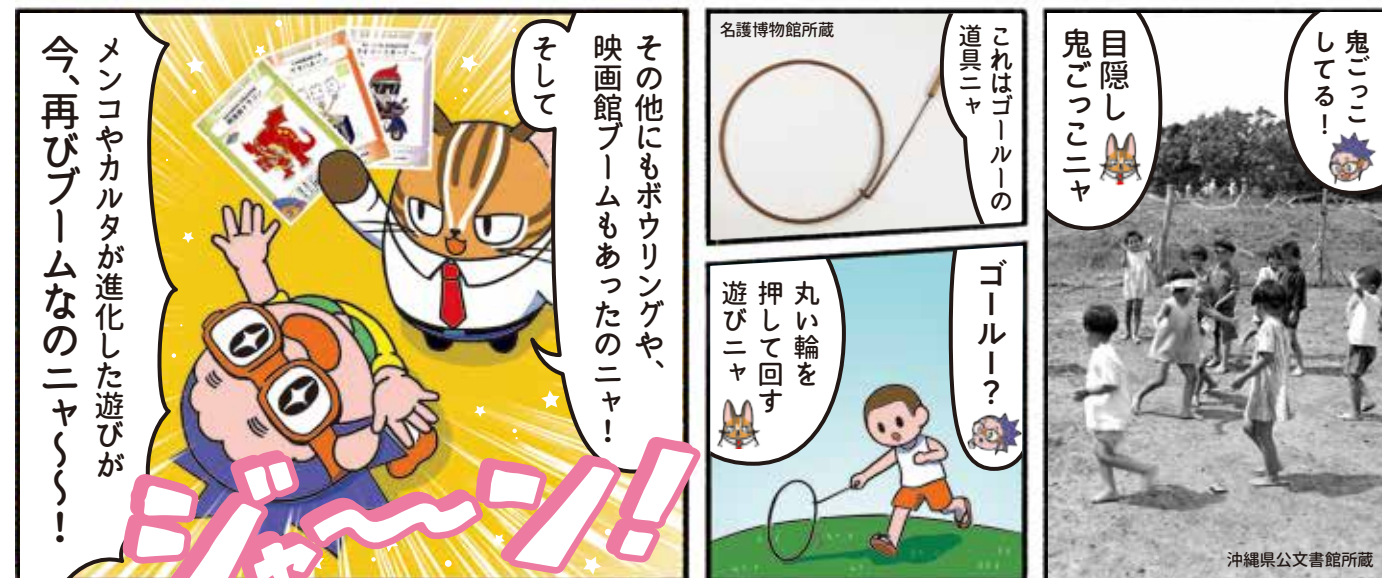


写真: 沖縄県公文書館所蔵



沖縄県公文書館所蔵